

国立大学法人 豊橋技術科学大学
住友電気工業株式会社
電力中央研究所
2026年6月19日

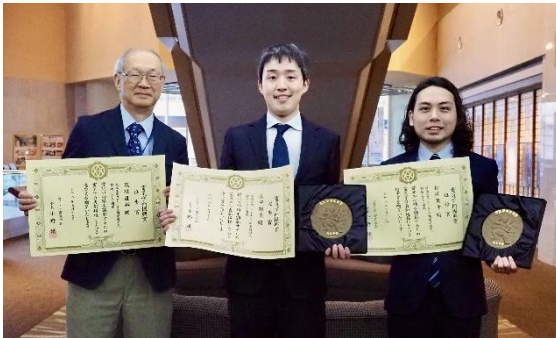
一般社団法人 電気学会より第82回電気学術振興賞 進歩賞を受賞
～超高圧電力ケーブルの空間電荷測定・解析システムを共同開発～

<概要>

国立大学法人 豊橋技術科学大学 穂積 直裕 名誉教授と、住友電気工業株式会社 電力事業部 開発部 松原 貴幸氏（2019年豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学専攻 博士前期課程修了）と、一般財団法人 電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 森田 翔亮 主任研究員（2019年豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学専攻 博士前期課程修了）の共同研究である「超高圧電力ケーブルの空間電荷測定解析システムの開発」が、2026年4月14日に一般社団法人 電気学会より第82回電気学術振興賞 進歩賞を受賞し、2026年5月27日に表彰式が執り行われました。

<詳細>

「電気学術振興賞 進歩賞」は、1942年に創設され、電気・電子・情報分野において、新規性のある理論や技術などの提案や実証、または画期的な製品・設備の完成や改良により、産業および社会の進歩に大きく貢献した優秀な業績に対して授与されます。



受賞者（左から 穂積名誉教授、電力中央研究所 森田 翔亮 主任研究員、住友電工 松原氏）



表彰状と盾

受賞対象となった本研究では、超高圧直流電力ケーブルの絶縁体に生じる空間電荷を測定・解析するシステムを開発しました。空間電荷とは、絶縁体の内部に正極性、または負極性のどちらかに偏って存在する電荷であり、電力ケーブルの絶縁体内部に蓄積されると、絶縁材料の絶縁性能に悪影響を及ぼすことがあります。電力ケーブルに直流電圧を印加することにより、この空間電荷が絶縁体に蓄積するため、超高圧直流電力ケーブル用絶縁材料の開発において、この空間電荷の蓄積現象の解明が重要課題となっています。

このたび、空間電荷の計測技術であるパルス静電応力法の著しい進歩に貢献し、超高圧直流電力ケーブルのさらなる信頼性向上に寄与することが高く評価され、受賞いたしました。

【問い合わせ先】

国立大学法人 豊橋技術科学大学

総務課 広報・地域連携室 広報係

TEL: 0532-44-6506 Email: kouho@office.tut.ac.jp